

## □ 要請番号 (JL04517B05)

募集終了



国名	職種コード 職種	年齢制限	活動形態	区分	派遣期間	派遣隊次
モンゴル	H105 看護師		個別	交替 3代目	2年	・2018/1・2018/2・ 2018/3



### 【配属機関概要】

#### 1) 受入省庁名 (日本語)

保健省

#### 2) 配属機関名 (日本語)

ボルガン県総合病院

#### 3) 任地 (ボルガン県ボルガン) JICA事務所の所在地 (ウランバートル)

任地からJICA事務所までの交通手段、所要時間 (バスで約 7.0 時間)

#### 4) 配属機関の規模・事業内容

1934年設立の内科、外科、産婦人科、小児科等17科からなる総合病院でボルガン県民に保健・医療サービスを提供している。年間予算は約2億円。年間の外来患者は4千名、入院患者は5千名程度。医師57名、看護主任6名、看護師86名、他職員74名の合計223名が勤務し、ベッドは140床。JICA草の根技術協力「母と子のための地域ぐるみ健康づくり」プロジェクトが2009年から2012年まで実施された。現在、2代目看護師の青年海外協力隊1名(2017年10月任期終了予定)が院内の看護師向けに各種勉強会を開催し、看護技術向上の為に活動中。

### 【要請概要】

#### 1) 要請理由・背景

同病院では看護師の青年海外協力隊(JV)1名が同僚とともに勉強会等の実施を通じて看護技術、看護ケアの向上に取り組んでいる。今までに、正しい注射の実施方法、胃管カテーテルの挿入・管理等、様々な勉強会を実施し、院内の看護師に対して定期的な勉強会の実施・参加は定着してきた。しかしながら、看護師の技術力向上に関しては未だ途中段階であり、成果が表れるには時間を要する状況である。よって、同JVの活動を引き継ぎ、看護師の技術向上を図る為、後任要請に至った。また、同地域では生活習慣病が多いことが問題となっており、特に、生活習慣病のうち脳卒中が多く発症しているが、医療従事者による患者の脳卒中発症後のケアは十分でない。よって、今後は3代目JVのサポートの下、内科、神経科の看護レベル向上を図り、地域住民へより良い医療サービスを提供していきたいと考えている。

#### 2) 予定されている活動内容 (以下を踏まえ、隊員の経験をもとに関係者と協議して計画を立て、柔軟に内容を変更しながら活動を進めます)

1. 主に、内科看護ケア、脳卒中予防、脳卒中発症後のケアについて勉強会を開く。
2. 内科、神経科の看護師対象にSOAP(看護診療録)について教え、適切な実施の為のアドバイスをする。
3. 脳卒中発症後の看護、ベッドサイドでのケア、簡単な運動等について医師、看護師に助言をする。

#### 3) 隊員が使用する機材の機種名・型式、設備等

吸引機(TAF7000/F日本製)、人工呼吸器(中国製)、アンビューバッグ、モニター(日本製)、パルスオシメーター(スイス製)、高濃度酸素吸入器、ペンチレーター、全身麻酔器(日本製)

#### 4) 配属先同僚及び活動対象者

C/P: 看護部長(女性、40代、実務経験25年)

同僚:内科及び神経科の看護師 各2名(女性、30-40代、実務経験16-24年)

活動対象者: 内科及び神経科の看護師16名

5) 活動使用言語

モンゴル語

6) 生活使用言語

モンゴル語

7) 選考指定言語

## 【資格条件等】

[免許]：(看護師)

[学歴]：( ) 備考：

[性別]：( ) 備考：

[経験]：(実務経験) 3年以上 備考：経験に基づいた指導が必要

### 任地での乗物利用の必要性

不要

## 【地域概況】

[気候]：(ステップ気候) 気温：(-30～30℃位)

[電気]：(安定)

[通信]：(インターネット可 電話可)

[水道]：(安定)

## 【特記事項】

当国では保健医療系ボランティアの分科会が定期的にセミナーを実施しており、同会での連携活動も期待される。